

# 「白い森の国おぐに」森づくり活動の取り組みについて

小国町は、全国有数の豪雪地帯であり、「ブナの森」をはじめ、町全体を覆い尽くすように落葉広葉樹林が広がっています。この豊穡の森の象徴であるブナの樹肌と、冬に降り積もる雪から連想される「白」。小国町では町全体を「白い森」と呼び、そこで培われてきた先人の技術と知恵である「ぶな文化」を基軸に町づくりを進めています。

今年度、小国町では、「山形県みどり環境交付金」を活用して森林と関わる様々な体験活動を開催し、次代を担う子ども達をはじめ多くのかたを対象に、森林や農林業への理解と促進を目的とした事業を展開しています。

## 森林セラピー推進事業

### 【環境整備】

森林セラピー基地「ブナの森温身平」の機能と景観を保ち、訪れる方々が快適に森林セラピーを楽しめるよう、セラピーロードの環境整備を行いました。令和6年度は、遊歩道内に設置している木製看板と木製ベンチを、新たに製作し設置しました。



リトリートツアー、ミニツアー実施状況



セラピーロード環境整備の様子



木製看板、木製ベンチの製作及び設置

## 森から拓く次代の生業づくり事業

### 【林業機械操作技術研修】

町民を対象に、刈払機に関する安全衛生教育研修を行いました。機械操作技術の向上と安全な使用方法について学ぶことで、町内の森林整備の促進に繋がるものと期待されます。



林業機械操作技術研修会の様子

## 生涯学習講座開設事業

### 【白い森子ども体験教室】

幼児や小学生を対象に、森林散策や町内に生息する生物の観察を通じて、森林環境や様々な動植物の特徴と役割について学びました。



町内の2~6歳児を対象とした「森のようちえん」



町内の小学生を対象とした「森の楽校」

## 白い森づくり体験事業

### 【森林体験学習】

町内の小学生5年生を対象に、町の森林の概要や機能を学んだほか、植栽から主伐までの手入れの仕方を学びました。



植樹する苗を見学



造林作業等の映像を見ながらの講座

### 【町民の森整備】

町民を対象として、森林体験活動に適した林地を整備する森林整備体験を行いました。



刈り払い活動実施状況